



平成30年5月2日

各 位

会 社 名 日本パレットプール株式会社
代表者名 代表取締役社長 有田 栄一
(コード番号： 4690)
問合せ先 財務部長 曾我 智樹
(TEL. 06-6373-3231)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年2月6日付の「平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において発表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 6,400	百万円 60	百万円 121	百万円 60	円 銭 7.24
今回修正予想 (B)	6,244	△7	96	47	5.65
増減額 (B-A)	△155	△67	△24	△12	—
増 減 率	△2.4%	—	△20.6%	△20.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	6,335	80	186	50	6.05

2. 修正の理由

通期の業績につきましては、主力の石油化学樹脂関連企業向けレンタルは前期実績を上回りましたが、その他一般顧客向けのレンタルが競合他社との価格競争の影響等を受けて伸び悩んだため、売上高は6,244百万円（前回発表予想比2.4%減）となる見込みであります。

また、石油化学樹脂関連各企業の期末増産体制を控えたレンタル数量の急増に伴う、現有パレットの回送や修理・洗浄等に係る費用、並びに新造パレットの導入に係る減価償却費の増加により、営業損失7百万円（前回発表予想は営業利益60百万円）となる見込みであります。また、経常利益は96百万円（前回発表予想比20.6%減）、当期純利益は47百万円（前回発表予想比20.8%減）となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上